

〔質疑〕消費生活相談員は、どのような方に委嘱するのが伺いたい。

〔答弁〕本来ならば資格を持った方をお願いするところだが、当市においては有資格者がいないので、広く消費生活関係の問題に見識のある方を選んでいる。

〔質疑〕学校給食において、要保護世帯、準要保護世帯の援助数について伺いたい。

また、学校給食費の納付率について伺いたい。

〔答弁〕当初、小学校については135名、中学校については90名の予算化をしていた。

今回認定見込みとして、小学校が24名ほど増えており、中学校については8名ほど増えている現状である。

納付率については、平成18年度で99・6％で、滞納繰越分を含むと、98・68％になる。なお、未納額は2百46万7千百78円である。



管玉（上）石砲丁（下）



発掘作業

〔質疑〕坂端道路改良遺跡発掘調査事業成果について伺いたい。

〔答弁〕今年度2千3百10㎡を行い、古墳時代中ごろの遺物を含む地層が確認されている。さらに、弥生時代中期後半の遺物の確認もされており、土器が多数、石包丁が1点、石斧が1点確認された。

さらに、墓跡と思われる遺構が二つ確認され、その中から管玉7点が出土している。

特別会計

〔質疑〕緑が丘の管渠調査業務は、維持補修の一環としてものなのか、何らかの不具合があったので調査するのが伺いたい。

〔答弁〕調査の結果、緑が丘

団地の下水道管に不明水（※豆辞典をご覧ください）が相当流入していることが判明した。

についてはこれを国庫補助事業として地中の管をテレビカメラ等で調査し、漏水箇所を発見しようとするものである。

【不明水】

下水道という不明水は下記のとおり、本来の下水以外に流入してくるものがあります。これらは大きく次の3つに分類されます。

- 雨樋、側溝等の污水管渠への誤接続による雨天日の雨水流入
- 管渠欠陥部分への雨水浸透水の流入
- 地下水位変移により、管渠欠陥部からの地下水の流入、漏水

これらの問題を放置できない理由としては

◎財政を圧迫する

不明水の発生によって、処理場への負荷の増大、未収水量の増大などにより、財政を圧迫する要因になってくる。

◎都市型浸水被害を誘発

豪雨時に下水管路に大量の雨水が浸入し、マンホールがあふれるなど、都市型の浸水被害が心配される。

◎大規模事故を誘発

雨天日、晴天日にかかわらず、恒常的に浸入する地下水が管渠外面の土砂を引き込み、地盤が陥没する事態が考えられる。

◎環境汚染

不明浸入水とは逆に下水管路から汚水が漏水し、地下水を汚染するなど、環境衛生面での問題も懸念される。

があげられ、白石市としてもその対策に取り組んでいます。

議会活性化 特別委員会を設置

12月定例会最終日の本会議において議会活性化特別委員会が設置されました。

地方の財政は、長引く経済の低迷や国の三位一体改革等による地方交付税、各種補助金の削減により、一層厳しさを増しており、市当局においては白石市行政改革推進計画（集中改革プラン）を策定し、取り組みを行っていることから、市議会も自らが積極的に改革に取り組み、活性化を図る必要があるため、同委員会を設置し、次の調査事項について付託されました。

1 調査活動事項 行政視察に関すること

委員長 山谷 清
副委員長 安藤 佳生
委員 菅野 孝子
委員 水落 裕一
委員 山田 多実男
委員 安斎 一郎
委員 保科 英夫
委員 四宮 知一
委員 平間 栄一
委員 大野 敬一
委員 委制野